



# あやせ

AYASE

# 市議会 だより



綾瀬市議会  
ホームページ  
QRコード

No.189

令和2年(2020年)11月  
発行 綾瀬市議会  
編集 議会報編集委員会  
☎0467-70-5644  
✉wm.705644@city.ayase.  
kanagawa.jp

ホームページ <http://www.city.ayase.kanagawa.jp/gikai/gikaitop.html>



9月26・27日、新型コロナウイルス感染防止対策をして、中学校の文化祭が開催されました。吹奏楽の様子  
＜綾瀬市オーエンス文化会館にて＞

## 令和元年度6会計決算を賛成多数で認定

### 市議会から市長へ減額した議会費の有効活用を申し入れ

#### 9月定例会

9月定例会が、9月1日から9月28日までの28日間の会期で開かれました。この定例会では、令和元年度6会計決算、総合計画、令和2年度一般会計や介護保険事業特別会計、下水道事業会計の補正予算、綾瀬市市税条例の一部を改正する条例、動産の取得、市道路線の廃止・認定、綾瀬市教育委員会委員の任命など、市長から提出された26議案を審議し、それぞれ認定、可決、同意、承認しました。議員提出議案では、意見書1件を可決しました。陳情は、1件を趣旨了承、3件を趣旨不了承と決しました。(議案名と審議結果は8ページに掲載)

また、10月1日に市議会から市長へ減額した議会費の有効活用を申し入れました。(申し入れの内容は7ページに掲載)

#### 歳入歳出決算の認定

令和元年度6会計決算は、歳入総額が490億3705万円、歳出総額が479億896万円で、前年度と比較し、歳入は0.9%の増、歳出は0.8%の増となりました。

一般会計では、歳入が対前年度比1.4%増の302億5647万円で、その内訳は、市税などの自主財源が51.9%、国庫支出金などの依存財源が48.1%の割合でした。歳出は、対前年度比1.5%増の、292億9896万円で、主に、高齢者の社会参加の促進や幼児期の教育の推進などに要した民生費が、115億855万円で39.3%を占め、次に、綾瀬スマートインターチェンジ関連事業などに要した土木費が、38億4422万円で13.1%を占めました。

特別会計のうち、国民健康保険事業では、1人当たりの療養給付費が25万8495円でした。下水道事業では、水質保全と地域住民の居住環境を保持するため、終末処理場施設の更新・耐震工事や終末処理場用地の土地開発公社からの買戻しを実施し、人口普及率は、94.3%となりました。深谷中央特定土地区画整

#### 基本構想

人口減少、少子高齢社会が急速に進行する時代に、本市が持続的な成長・発展をしていくための綾瀬市総合計画2030基本構想を可決しました。基本構想は、令和3年から令和12年までの10年間を計画期間とし、本市が持続可能なまちとして、地域福祉の実現や地域の活性化を促進し、次世代に引き継げるまちづくりを目指すものです。

#### 条例

○綾瀬市市税条例の一部を改正する条例  
地方税法の改正に伴い、所要の改正をするもので、可決しました。

○綾瀬市市税条例の一部を改正する条例  
令和2年度災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-I型)の取得を可決しました。

#### 人事案件

○綾瀬市教育委員会委員の任命について  
平出恵子氏(上土棚中)を再任することに同意しました。

○人権擁護委員の候補者の推薦について  
落合あい子氏(小園)を法務大臣に再度推薦することに同意しました。

#### 議員提出議案

○義務教育に係る国による財源確保と、35人以下学級の着実な実施・進行を図り、教育の機会均等と水準の維持・向上並びに行き届いた教育の保障に関する意見書  
義務教育費国庫負担制度を存続・拡充し、義務教育教科書無償制度を継続するとともに、行き届いた教育を実現するための予算を確保・拡充することを求めるもので、可決しました。

可決した意見書は関係機関に提出しました(意見書の全文は7ページに掲載)。

#### 専決処分の承認

一般会計補正予算(第5号)として、ひとり親世帯への臨時特別給付金事業費などを計上したものを、一般会計補正予算(第6号)として、学校保健特別対策事業費補助金が創設され、補助事業を実施するための経費としたもので、それぞれ承認しました。

#### 報告

○令和元年度綾瀬市一般会計継続費精算報告書について  
○令和元年度決算に基づく健全化判断比率及び公営企業の資金不足比率について

#### 補正予算

一般会計(第7号)、介護